

【高齢者の生きがい】

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

(7) 通常リスクの対処方法2

毎日を問題なく生活するには、いかに正確な情報を入手する事ができ、その活用をどうするかが必要な時代であり、情報との付き合い方に前向きにならないといけないです

詐欺、窃盗、強盗などの事件に遭遇することもないとはいえない時代ですし、交通事故では加害者、被害者のどちらにもなりうることも想定されます。また、自然災害に遭うことも想定されます。何が自分に起こるか予想が付かない時代であり、その確立が高くなっています。

金があれば多少なりとも防げることができる次代でもありますし、運の良い人も同じように防げるかもしれませんが、一般的には何事にも対処することは難しい時代です。

対処の一つの方法が、人の力を上手に使わせてもらうことです。つまり人の能力を上手く自分のものにすること、その力を利用すること、その力を活用すること、その力にすぎることなどを普段から行うことです。

そのためには、身近な問題点・課題に向きあうことは必然的であり、その内容を考えることは最低限のことであり、そのことにどう向きあって生活をしていくかが問題であり、その向きあった中身には、自然環境、地域、社会、家族などの多くの生活環境と、自分がどう向きあって生活をして行くのが課題であり、その課題とどう付き合って生きていくのか、その生きかたで毎日が成立しているのか、また特別なものとの付き合い準備ができているのかだと思えます。

人は基本的には一人で生きていく力を持つ必要がありますが、現実には社会があってその中で生かされているところもあります。一番必要な強さは、一人で多くのことが出来ることが大切であり、生きていくことの必要条件ですが、人に迷惑をかけることない人生を送ることができるのかの中身の問題です。

若い時のように体は動かないし、無駄と思えるような時間は少ないような環境であっても、いかに生きる喜びを肌で感じることは自分の責任です。

情報との付き合い方が上手な人は、何か得をしているように思いますし、楽しいことに会うチャンスが多くあるようにも思えます。また、時間との付き合い方も上手ですし、いつも自分はどう生きていくのかを考えることで何かが見え、そのことにより何かプラスのことが起こる可能性が大きくなるような気がします。何が大切なものか、何が自分にとって不必要か、そのための社会等との付き合い方をどうすれば良いか、毎日の自分の生活にどう役立させる

ことができるのかを考えることも大切ですし、毎日をなるべく楽しく感じるようにすることが基本であり、そのことが明日を見つけることができる大きな要素であると考えています。